

## 「物価上昇」を実感する消費者が大幅増加

東日本大震災の影響から、消費に対する自粛ムードが懸念されている。また、福島第一原発の事故を受けて、関西でも節電が呼びかけられており、企業だけでなく各家庭でも様々な対策が講じられている。このような状況の中での、消費者の動向を調査するために、滋賀銀行の店頭にご来店の女性を対象に消費と物価に関するアンケート調査を行い、ここでは、県外在住者の結果について分析する（県内在住者については別掲）。

◇調査名：「消費と物価に関するアンケート」  
◇調査時期：6月7日(火)～9日(木)  
◇調査対象：滋賀県および京都府の滋賀銀行本支店にご来店の県外在住の女性  
◇有効回答数：県外在住者 118人

### 【全体のコメント】

・「暮らし向きDI」（「良くなった」「やや良くなった」と回答した合計から「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した合計を引いた値）-15となり、前回（10年12月：-28）から13ポイント上昇し、改善している。しかし、「今後半年間でどうなると思うか」と尋ねたところ、今後の「暮らし向きDI」（同上）は-20でやや悪化する見通しとなった。

・「物価DI」（「かなり上がった」「やや上がった」と回答した合計から「かなり下がった」「やや下がった」と回答した合計を引いた値）は+53となり、前回（10年12月：+32）から21ポイントの大幅な上昇となった。さらに、「今後半年間でどうなると思うか」と尋ねたところ、今後の「物価DI」（同上）は+72とさらに上昇の見通しとなった。原油価格の高騰に伴い、灯油、ガソリン、石油などのエネルギー関連の価格が高騰しているため、消費者の意識としては、物価は上昇しているという実感につながっていると思われる。

・「耐久消費材の買い時として、今と比べて今後半年間でどうなるかと思うか」と尋ねたところ、「良くなる」、「やや良くなる」の合計が9%と、前回（7%）よりも2ポイント上昇し、「悪くなる」、「やや悪くなる」の合計は、35%で前回（41%）より6ポイント減少したが、依然厳しい状態が続く。家電エコポイント制度が今年の3月末で終了するなど、消費刺激策がなくなり、その後、好転するような材料もみられないことから、耐久消費材の買い時は引き続き厳しい状況であり、消費者の意識もあまり変化がみられないようだ。

・「最近の世帯の支出で増えたもの、減ったものは何か」（複数回答）を尋ねたところ、支出が増えた項目としては、「携帯電話、インターネット等通信費」（41%）が最も多く、次いで「食料費」（35%）、「保健・医療費」（34%）と続いた。一方、支出が減った項目は「外食など飲食費」（43%）が最も多く、次いで「衣料費」（40%）、「旅行・レジャー費」（38%）、「光熱・水道費」（24%）となった。前回に比べて支出が減っている項目として、「旅行・レジャー費」や「光熱・水道費」の割合が上昇しているため（27%→38%、12%→24%）、震災による自粛の影響、節電や節水の影響が出ていると考えられる。

・「最近の消費行動に変化はありますか」（複数回答）と尋ねたところ、増えた消費行動としては、「PB商品の購入」（35%）が最も多く、「通販、ネットでの購入」、「セルフガソリンスタンドの利用」（ともに31%）と続いた。物価の上昇に伴い、低価格であるPB商品を購入する消費者が多い。

一方、減った消費行動としては「衝動買い」（48%）が最も多く、次いで「外食」（34%）となった。その他の減った消費行動として特徴的なのは、「電気、水道の使用量」で前回（10年12月：18%）から7ポイント上昇の25%となったことから、東日本大震災をきっかけに消費者が節電や節水を意識しているとみられる。

#### 特別項目〈この夏の節電対策についてのアンケート〉

・この夏の節電対策について尋ねたところ、約4割（38%）が「既の実施している」と回答し、約5割（49%）が「実施する予定」と回答した。

・「節電のためにどのような対策をするか」と尋ねたところ、「既の実施している」（38%）と回答した人のなかで最も多かったのは「照明をこまめに消灯する」（94%）、次いで「電化製品のコンセントを抜くあるいは、主電源を切る」（64%）、「涼しさを重視した衣服、肌着、下着などを着用する」（53%）となった。

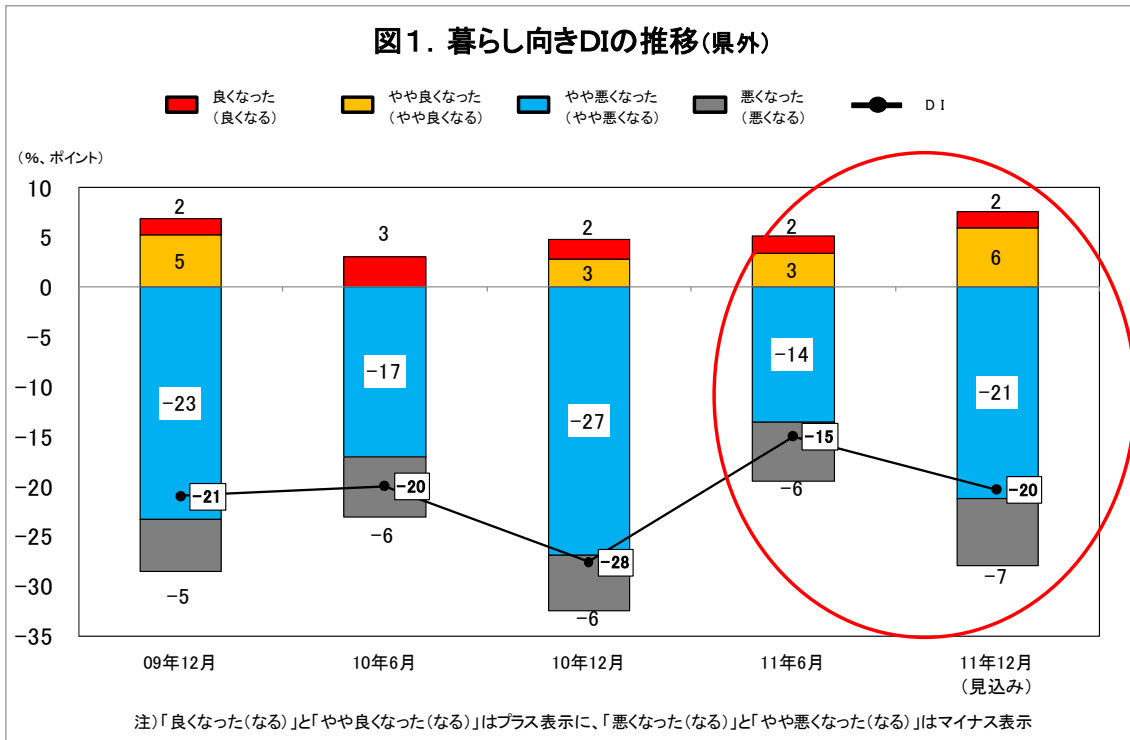
今後、「実施する予定」（49%）と回答した人では、「照明をこまめに消灯する」（80%）が最も多かったものの、2番目は「エアコンの設定温度を上げる」（71%）となり、この項目に限り「既に行っている」と回答した人より24ポイント多い結果となった。

・「節電のために購入したもの（する予定）」と尋ねたところ、「既の実施している」（38%）、と回答した人の中で最も多かったのは、「暑さ対策グッズ（冷感寝具、ネッククーラーなど）」（46%）、次いで「LED照明（従来照明から切り替え）」（33%）、「すだれや植物など、日差しを遮るもの」「その他省エネ家電」（ともに25%）となった。

また、「実施する予定」（49%）と回答した人では、「LED照明（従来照明から切り替え）」（48%）で5割近くを占め、次いで「すだれや植物など、日差しを遮るもの」「暑さ対策グッズ（冷感寝具）」（ともに28%）となった。

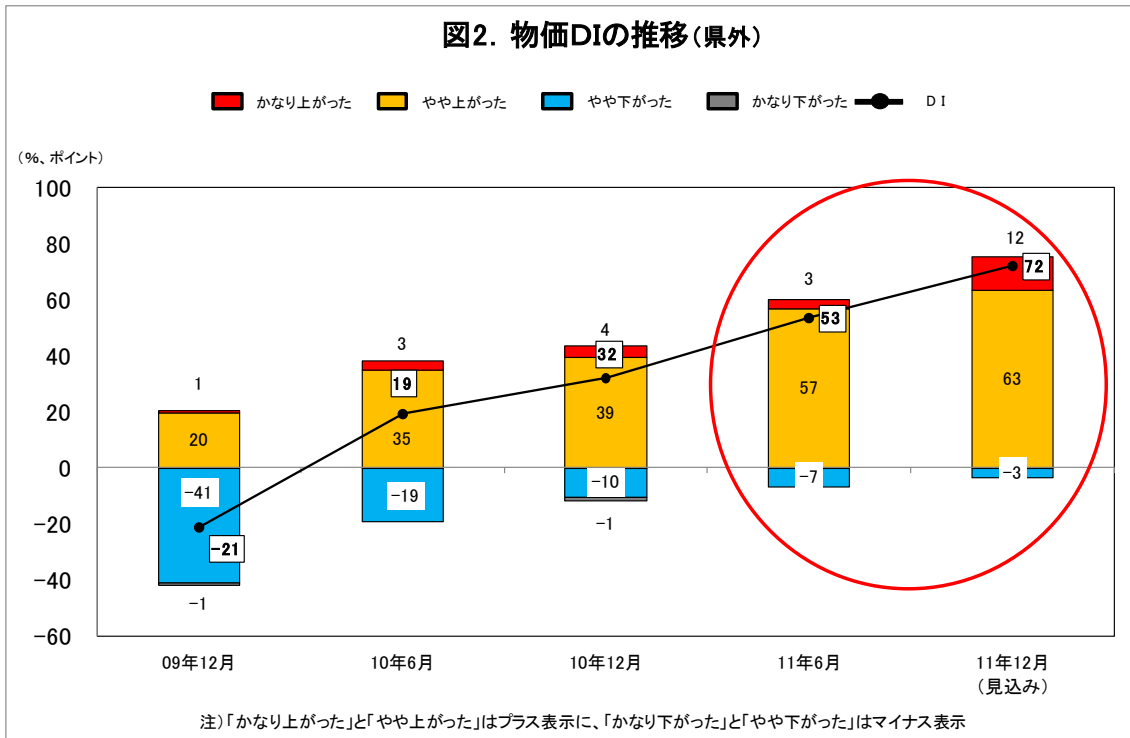
◆【暮らし向きDI】…改善したものの、半年後は悪化の見通し

現在の「暮らし向きDI」（「良くなった」「やや良くなった」と回答した合計から「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した合計を引いた値）は-15 となり、前回（10年12月：-28）から13ポイント上昇し、改善している。また、「今後半年間でどうなると思うか」と尋ねたところ、今後の「暮らし向きDI」（同上）は-20で現状（-15）から5ポイント低下する見通しとなった。暮らし向きは改善したものの、景気の不透明感などから、半年後は再び悪化の見通しとなった。



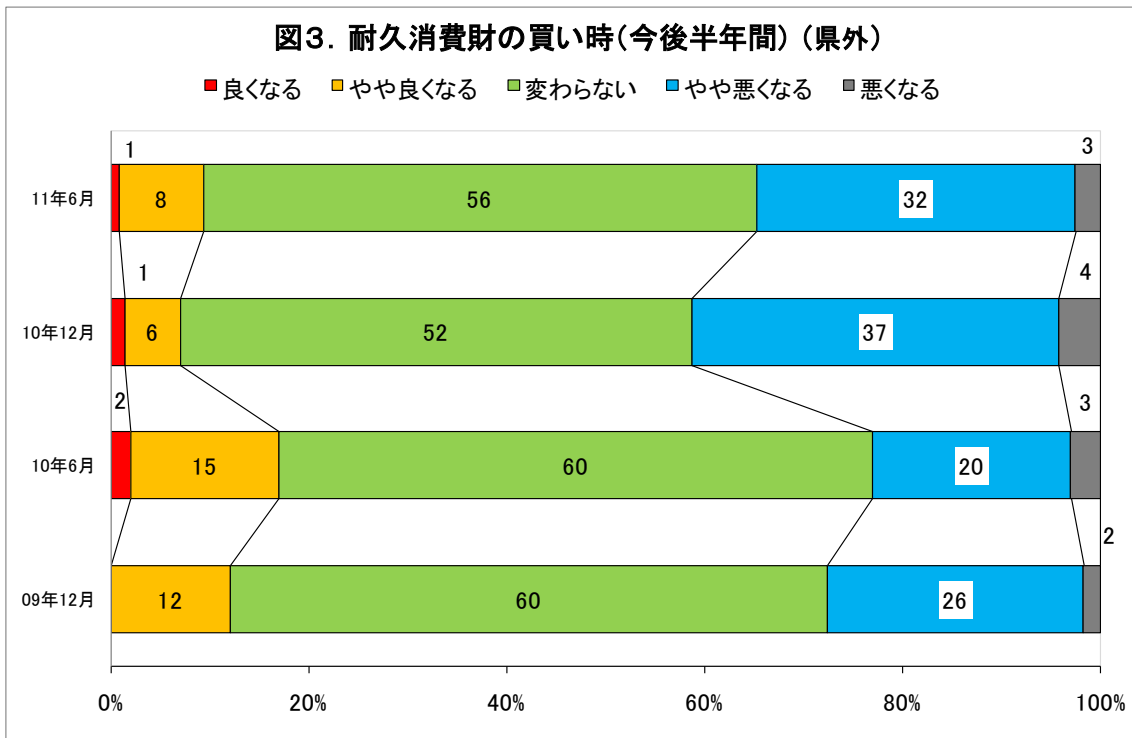
◆【物価DI】…大幅に上昇、半年後はさらに上昇の見込み

現在の「物価DI」（「かなり上がった」「やや上がった」と回答した合計から「かなり下がった」「やや下がった」と回答した合計を引いた値）は+53 となり、前回（10年12月：+32）から21ポイントの大幅な上昇となった。さらに、「今後半年間でどうなると思うか」と尋ねたところ、今後の「物価DI」（同上）は+72 とさらに上昇の見通しとなった。引き続き、原油価格の高騰に伴い、灯油、ガソリン、石油などのエネルギー関連が高騰しているため、消費者の意識としては、物価は上昇しているという実感につながっていると思われる。



◆【耐久消費財の購入】…依然として厳しい状態が続く

「耐久消費財の買い時として、今と比べて今後半年間でどうなると思うか」と尋ねたところ、「良くなる」と「やや良くなる」の合計が9%と、前回（7%）よりも2ポイント上昇した。一方、「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計は35%で、前回（41%）より6ポイント減少した。また、「変わらない」は前回52%から今回56%となり、4ポイント上昇した。家電エコポイント制度が今年の3月末で終了するなど、消費刺激策がなくなり、その後、好転するような材料もみられないことから、耐久消費材の買い時は引き続き厳しい状況であり、消費者の意識もあまり変化がみられないようだ。

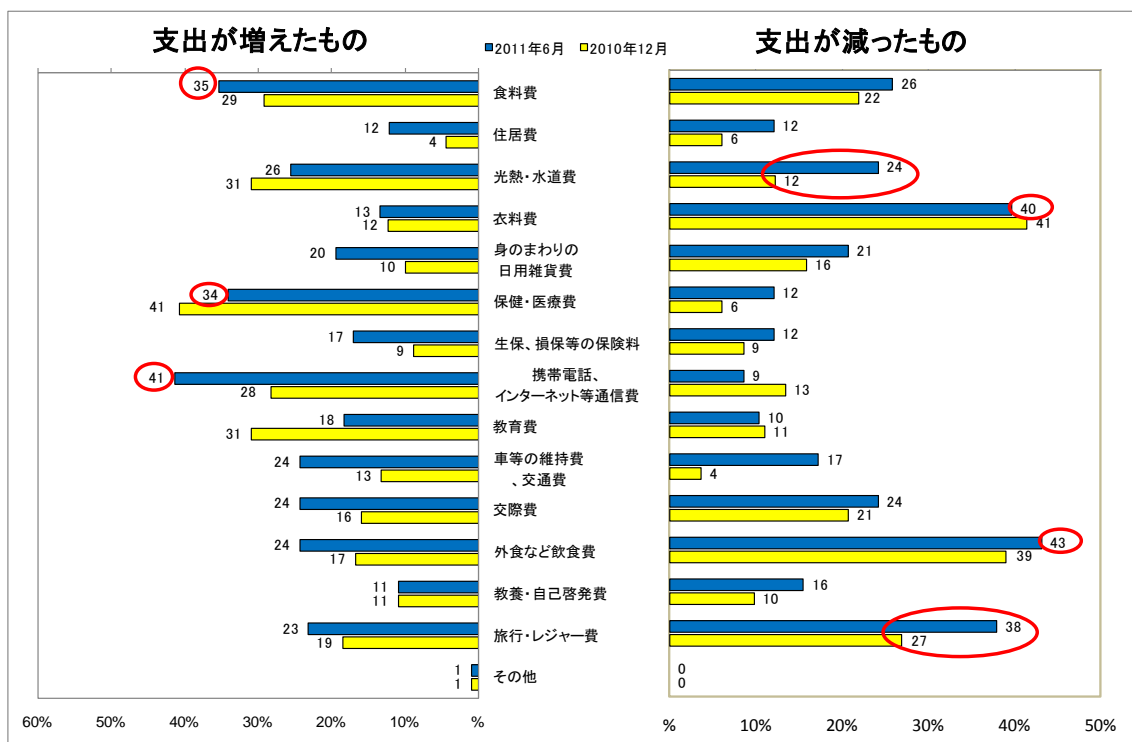


◆【支出】…旅行・レジャー費が減少、引き続き外食も減少傾向

「最近の世帯の支出が増えたもの、あるいは減ったものは何ですか」（複数回答）と尋ねたところ、支出が増えた項目としては、「携帯電話、インターネット等通信費」（41％）が最も多く、次いで「食料費」（35％）、「保健・医療費」（34％）と続いた。スマートフォンの普及も「携帯電話、インターネット等通信費」の支出が増えた一因と考えられる。

一方、支出が減った項目は「外食など飲食費」（43％）が最も多く、次いで「衣料費」（40％）、「旅行・レジャー費」（38％）、「光熱・水道費」（24％）となった。依然、内食志向が続いていることから、「外食など飲食費」の支出は減らしているようだ。また、前回に比べて支出が減っている項目として、「旅行・レジャー費」や「光熱・水道費」の割合が上昇するなど（27％→38％、12％→24％）、震災による自粛の影響、節電や節水の影響が出ていると考えられる。

図4. 世帯の支出の増減について（県外）

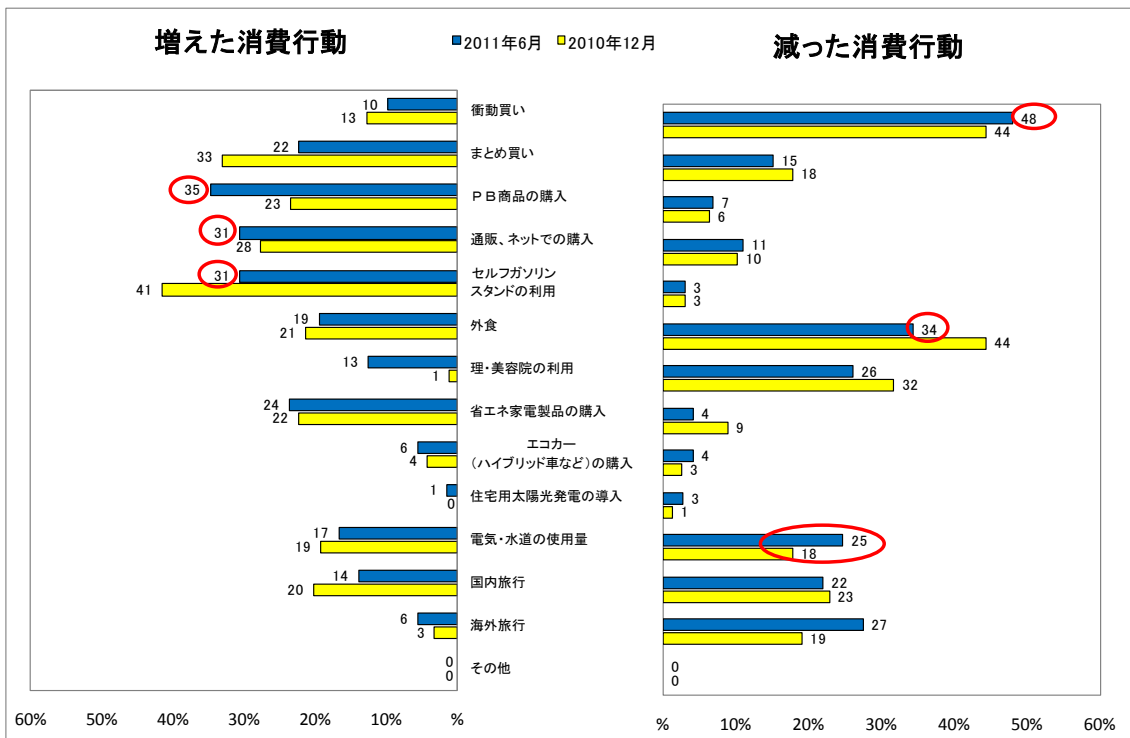


◆「消費行動」… 節電や節水を意識する消費者が増える

また、「最近の消費行動に変化はありますか」（複数回答）と尋ねたところ、増えた消費行動としては、「PB商品の購入」（35%）が最も多く、「通販、ネットでの購入」、「セルフガソリンスタンドの利用」（ともに 31%）と続いた。物価の上昇に伴い、低価格であるPB商品を購入する消費者が多い。

一方、減った消費行動としては「衝動買い」（48%）が最も多く、次いで「外食」（34%）となった。その他の減った消費行動として特徴的なのは「電気、水道の使用量」で前回（10年12月：18%）から7ポイント上昇の25%となったことから、東日本大震災をきっかけに消費者が節電や節水を意識しているとみられる。

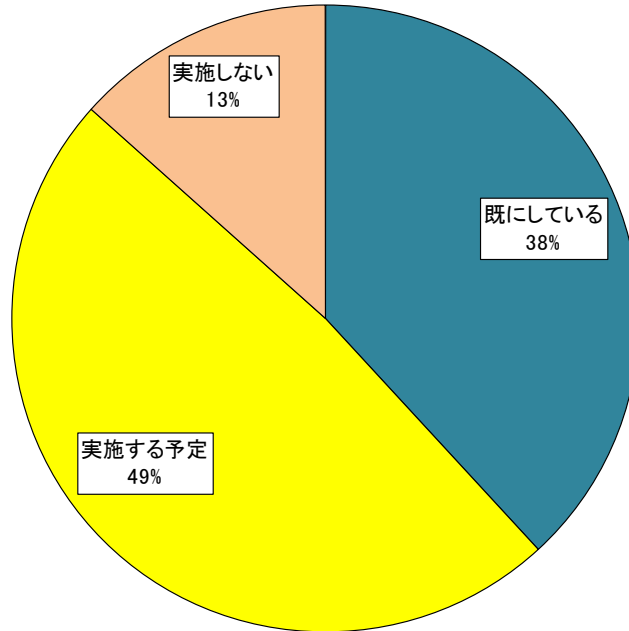
図5. 世帯の消費の増減について（県外）



◆「既になっている」が4割、「実施する予定」は5割

この夏の節電対策について尋ねたところ、約4割（38%）が「既の実施している」と回答し、約5割（49%）が「実施する予定」と回答した。

図6 節電対策を実施する予定か(またはしているか)(県外)

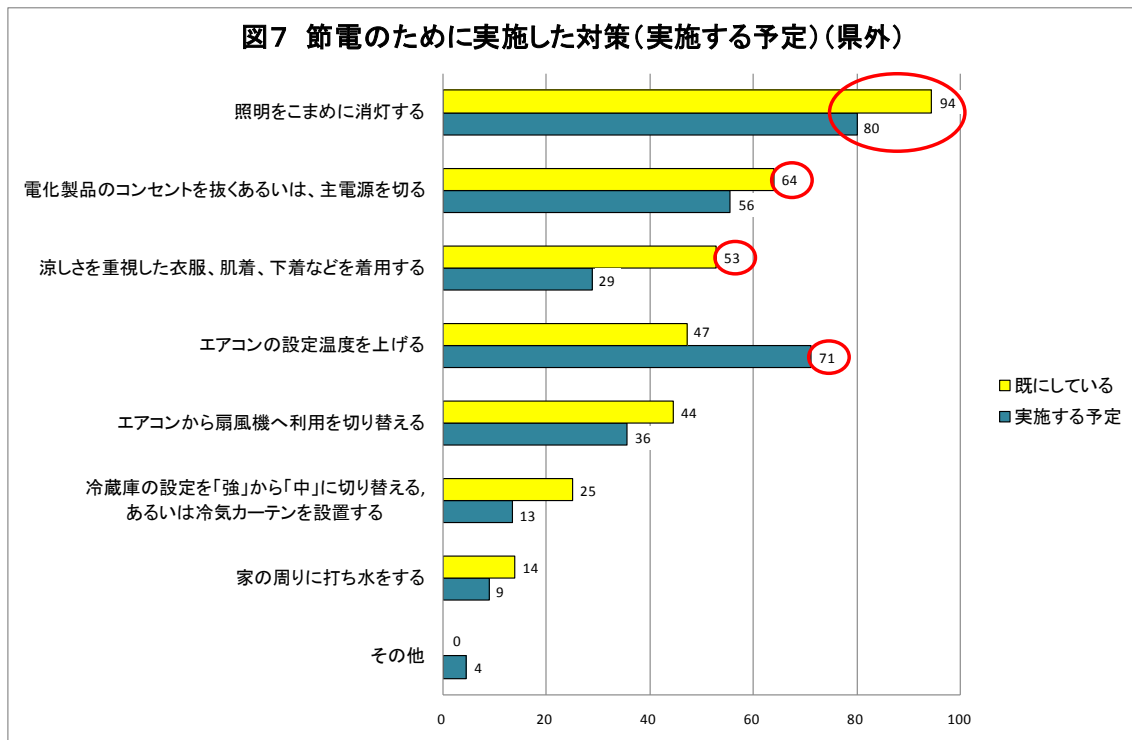




◆具体的にどのような節電対策を行うか…

「節電のためにどのような対策をするか」と尋ねたところ、「既の実施している」(38%)と回答した人のなかで最も多かったのは「照明をこまめに消灯する」(94%)、次いで「電化製品のコンセントを抜くあるいは、主電源を切る」(64%)、「涼しさを重視した衣服、肌着、下着などを着用する」(53%)となった。

今後、「実施する予定」(49%)と回答した人では、「照明をこまめに消灯する」(80%)が最も多かったものの、2番目は「エアコンの設定温度を上げる」(71%)となり、この項目に限り「既にしてている」と回答した人より24ポイント多い結果となった。

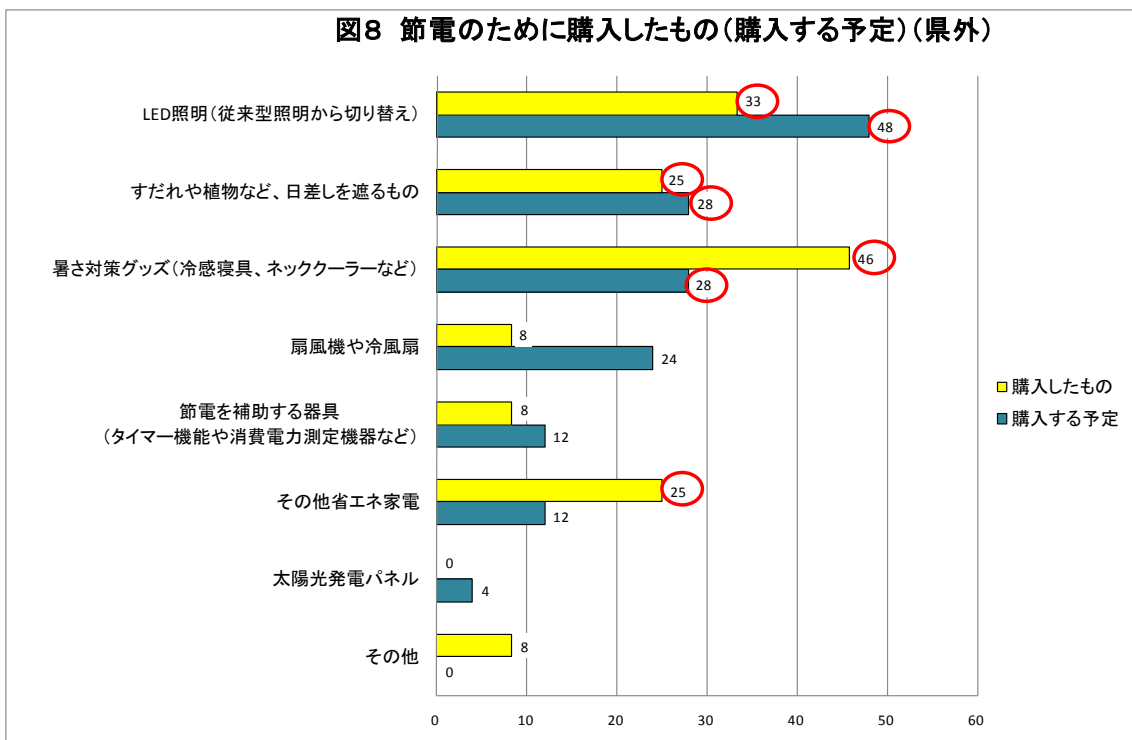


◆節電対策のためにどのようなものを購入するか・・・

「節電のために購入したもの(する予定)」を尋ねたところ、「既の実施している」(38%)、と回答した人の中で最も多かったのは、「暑さ対策グッズ(冷感寝具、ネッククーラーなど)」(46%)、次いで「LED照明(従来照明から切り替え)」(33%)、「すだれや植物など、日差しを遮るもの」「その他省エネ家電」(ともに25%)となった。

また、「実施する予定」(49%)と回答した人では、「LED照明(従来照明から切り替え)」(48%)で5割近くを占め、次いで「すだれや植物など、日差しを遮るもの」「暑さ対策グッズ(冷感寝具)」(ともに28%)となった。

「既の実施している」と回答した人は、暑さ対策グッズなど身近で手軽なものから購入しており、「既に行っている」と回答した人ではLED照明などで長期的な節電対策を計画しているようだ。



株式会社 しがぎん経済文化センター  
山西 麻美